

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 (製品コード) : スレッドコンパウンド (記号: THC-A・品番 A250)
会社名称 : 株式会社 和光ケミカル
住所 : 神奈川県小田原市南鴨宮 1-1-1
電話番号 : 0465-48-2211(代)
FAX 番号 : 0465-49-1951
緊急連絡電話番号 : 技術部 (電話: 0465-48-8114)
推奨用途及び使用上の制限 : マニホールド・マフラー・スパークプラグ・エンジンシリンダーヘッド等、高音部のネジのカジリ・焼付き防止。ディスク及びドラムブレーキのブレーキ周りの各金属部位。そのほかの高温高荷重のかかるボルト、ナット等のカジリ・焼付き防止。用途以外に使用しないこと【業務用】
作成日 : 1996 年 1 月 27 日 (2026 年 4 月 1 日 改訂第 21 版)
整理番号 : A250-J21

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類

エアゾール 区分 1
皮膚腐食性/刺激性 区分 2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分 2A
皮膚感作性 区分 1A
特定標的臓器毒性 (単回ばく露) 区分 1 (循環器系、消化器)、区分 3 (気道刺激性、麻酔作用)
特定標的臓器毒性 (反復ばく露) 区分 1 (中枢神経系、神経系)
水生環境有害性 短期 (急性) 区分 1
水生環境有害性 長期 (慢性) 区分 1

※記載のないものは区分に該当しない、または分類できない

絵表示又はシンボル



注意喚起語 危険

危険有害性情報

- H222: 極めて可燃性の高いエアゾール
- H229: 高压容器: 熱すると破裂のおそれ
- H315: 皮膚刺激
- H317: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
- H319: 強い眼刺激
- H335: 呼吸器への刺激のおそれ
- H336: 眠気又はめまいのおそれ
- H370: 循環器系、消化器の障害
- H372: 長期にわたる、又は反復ばく露による中枢神経系、神経系の障害
- H400: 水生生物に非常に強い毒性
- H410: 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き

【安全対策】

- P210: 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
- P211: 裸火又は他の着火源に噴霧しないこと。
- P251: 使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。
- P260: ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- P264: 取扱い後は石けんで手をよく洗うこと。
- P270: この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

- ・ P271 : 屋外又は換気の良い場所だけで使用すること。
- ・ P272 : 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- ・ P273 : 環境への放出を避けること。
- ・ P280 : 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【応急措置】

- ・ P302+P352 : 皮膚に付着した場合 : 多量の水と石けんで洗うこと。
- ・ P304+P340 : 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・ P305+P351+P338 : 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・ P308+P311 : ばく露又はばく露の懸念がある場合 : 医師に連絡すること。
- ・ P312 : 気分が悪いときは医師に連絡すること。
- ・ P314 : 気分が悪いときは医師の診察/手当てを受けること。
- ・ P333+P313 : 皮膚刺激又は発疹が生じた場合 : 医師の診察/手当てを受けること。
- ・ P337+P313 : 眼の刺激が続く場合 : 医師の診察/手当てを受けること。
- ・ P362+P364 : 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
- ・ P391 : 漏出物を回収すること。

【保管】

- ・ P403+P233 : 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
- ・ P405 : 施錠して保管すること。
- ・ P410+P412 : 日光から遮断し、50℃以上の温度にばく露しないこと。

【廃棄】

- ・ P501 : 内容物/容器を国際条約や国/都道府県/市町村の規則に従い廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

- ・ 二硫化モリブデン 1～2 wt. %
- ・ 潤滑油基油 10～20 wt. %
- ・ 金属粉 企業秘密の為記載できない
- ・ 潤滑油添加剤 企業秘密の為記載できない
- ・ 増ちょう剤 企業秘密の為記載できない
- ・ n-ヘプタン 14wt. %
- ・ 噴射剤 (LPG) 50～60 wt. %

危険有害成分及び含有率

化合物名	CAS-No.	官報公示整理 番号(化審法)	労働安全衛生法 (対象法規)	PRTR 法 (管理番号)	含有率 (wt. %)
銅粉	7440-50-8	対象外 (元素)	・ 皮膚障害(刺激) ・ 表示/通知対象	非該当	5～15 ^{※3}
二硫化モリブデン	1317-33-5	(1)-481	・ 表示/通知対象	1 種 (453)	1.3 (Mo として)
鉱油 ^{※1}	64742-54-7	登録済	・ 表示/通知対象	非該当	10～20 ^{※3}
2,6-ジターシャリーブチル -4-クレゾール	128-37-0	(3)-540 (9)-1805	・ 通知対象	非該当 ^{※2}	0.1～0.5 ^{※3}
n-ヘプタン	142-82-5	(2)-7	・ 表示/通知対象	1 種 (731)	14
プロパン	74-98-6	(2)-3	・ 表示/通知対象 ^{※4}	非該当	50～60 ^{※3}
ブタン (全異性体)	106-97-8、75-28-5	(2)-4	・ 表示/通知対象	非該当	

※ 1 : IP346 法による DMSO 抽出物質が 3 質量%未満の潤滑油基油 (鉱油)

※ 2 : 第 1 種指定化学物質 (管理番号 207) だが、製品中の含有濃度が PRTR 法対象に満たないため非該当

※ 3 : 営業秘密

※ 4 : 2026 年 4 月 1 日改正より

4. 応急措置

- 眼に入った場合 : 水で数分間洗浄する。固形物 (金属粉など) があるのでこすらないこと。コンタクトレンズなどは外す (固着していたら無理に外さない)。眼の刺激が続く場合は医師の診察/手当てを受けること。
- 皮膚に付着した場合 : 汚染された衣服を脱ぎ、水と石けん等でよく洗い流す。皮膚刺激や発疹が生じた場合は医

- 吸入した場合 : 師の診察／手当てを受けること。
: 速やかに通気の良いところへ移動し安静にする。嘔吐物は飲み込ませないこと。気分が回復しない場合や呼吸に関する症状が現れた場合は、医師の診察／手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。無理に吐き出させないこと。気分が悪いときは医師の診察／手当てを受けること。

5. 火災時の措置

- 消火方法 : 火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。
: 初期の火災には、粉末、炭酸ガス消火剤を用いる。
: 大規模火災の際には、泡消火剤を用いて空気を遮断することが有効である。
: 輻射熱による容器破損を防ぐため、周囲の容器や設備などに散水する。
: 危険でなければ火災区域から容器を移動する。
: 消火作業の際は風上から行い、必ず保護具を着用する。
: 火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。
- 消火剤 : 霧状の強化液、泡、粉末または炭酸ガス消火剤が有効である。
消火に棒状の水を用いてはならない。

6. 漏出時の措置

- 共通事項 : 作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル）等を着用する。
: 着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。
: 付近の着火源、高温体及び可燃物を取り除く。
: 付着物、廃棄物等は、関係法規に基づいて処置をする事。
- 少量の場合 : おがくず、砂、ウエス等に吸着させ容器に回収し、その後を完全に拭き取る。
- 大量の場合 : 河川等へ排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
: 流出物は、火花が発生しないように、プラスチック製の用具を用いて密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
: 単独での回収が困難な場合は、乾燥砂、土、その他不燃性のものに吸収させて回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 共通事項 : 指定数量以上の量を取り扱う場合には、法で定められた基準に満足する製造所、貯蔵所、取扱所で行う。
: 静電気対策を行い、作業着、靴等も導電性のものを使用する。
- 取扱い : 換気の良い場所で取り扱う。
: 周辺で火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。
: 静電気対策を行ない、作業衣、作業靴は導電製のものを着る。この物質は静電気帯電する傾向があるので注意する。
: 吸い込んだり、眼、皮膚、及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用し、出来るだけ風上から作業する。
: 換気の悪い場所での作業時には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具を付けて作業する事。
- 保管 : 容器は直射日光を避け、通風の良い暗所に保管する。
: 火気、熱源から遠ざけて保管する。
: 酸化性物質、有機過酸化物など同一場所に置かない。

8. ばく露防止及び保護措置

化合物名	CAS-No.	管理濃度	濃度基準値 (安衛則 577-2) 8 時間 / 短時間	ACGIH TLVs TWA / STEL	日本産業衛生学会 許容濃度
その他の無機(結晶性シリカを 0.1%以上含まない)及び有機粉じん (第 3 種粉じん)	混合物の為記載できない	—	— / —	3 / — mg/m ³ (レスピラブル粒子)* 10 / — mg/m ³ (吸入性粒子)*	2 mg/m ³ (吸入性粉じん) 総粉じん 8 mg/m ³ (総粉じん)
二硫化モリブデン	1317-33-5	—	— / —	3 / — mg/m ³ (Mo として)	—
潤滑油基油 (鉱油)	64742-54-7	—	— / —	5 / — mg/m ³ (鉱油ミストとして)	3mg/m ³ (鉱油ミストとして)
銅粉	7440-50-8	—	— / —	1 / — mg/m ³ (銅粉として)	—
n-ヘプタン	142-82-5	—	— / —	400 / 500 ppm	200 ppm
プロパン	74-98-6	—	— / —	1000 / — ppm	—
n-ブタン	106-97-8	—	— / —	800 / — ppm	500 ppm
イソブタン	75-28-5	—	— / —	1000 / — ppm	500 ppm

*: Particles (insoluble or poorly soluble) Not Otherwise Specified

- ばく露設備対策 : 取扱場所の近くに高温、発火源となるものが置かれないような設備とすること。
: 密閉場所で作業する場合には、排気装置を取り付けること。
- 保護具 : 作業環境／使用量／使用頻度に応じ、不浸透性の適切な保護具を選択すること。
- 呼吸用保護具 : 有機ガス用防毒、防塵マスク。密閉された場所では送気マスク等。
- 手の保護具 : 適切な材質の保護手袋を着用すること。
- 眼、顔面の保護具 : 保護眼鏡等。
- 皮膚および身体の保護具 : 保護衣や保護長靴など、適切な材質の身体保護具を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

	原 液	噴射剤 (LPG)		
		プロパン	n-ブタン	イソブタン
状態	粘稠液体	ガス状 (大気圧)、液状 (容器内)		
外観	ブロンズ色	無色透明	無色透明	無色透明
臭い	データなし	無臭	無臭	無臭
融点／凝固点／流動点	データなし	-190℃ (融点)	-138℃ (融点)	-159℃ (融点)
沸点	データなし	-42℃	-0.5℃	-11.7℃
引火点	-4℃ (n-ヘプタン)	-104℃	-60℃	<-56℃
発火点	データなし	450℃	365℃	460℃
爆発範囲	1%～7%	2.1～9.5%	1.8～8.4%	1.8～8.4%
蒸気圧	データなし	1.275MPa (40℃)	0.278MPa (40℃)	0.427MPa (40℃)
蒸気密度	空気より大きい	1.6 (空気=1)	2.1 (空気=1)	2.1 (空気=1)
密度	0.92 g/cm ³ (20℃)	0.5 (水=1)	0.6 (水=1)	0.6 (水=1)
溶解性 (水)	不溶	0.007 g/100mL	0.006 g/100mL	不溶
オクタノール／水分配係数	データなし	Log P _{OW} = 2.36	Log P _{OW} = 2.89	Log P _{OW} = 2.80

10. 安定性及び反応性

- 安定性 : 通常の使用条件では安定
- 可燃性 : あり。引火しやすい。
- 自然発火性 : なし
- 水との反応 : なし
- 酸化性 : なし
- 自己反応性・爆発性 : 自己反応性はなし。
蒸気密度は空気より重く、低所に滞留して爆発性混合ガスをつくり易い。
- 危険有害な分解生成物 : CO、CO₂ および不完全燃焼ガス

11. 有害性情報

製品としてのデータなし。以下に成分の有害性情報を示す。

記載無きものは GHS 分類でカットオフ値以下のものか、知見なし、あるいはデータなし。

急性毒性 経口	: 成分および組成より区分に該当しないと判断した。
«スレッドコンパウンド原体»	LD50> 5g/kg (ラット)
«n-ヘプタン»	LD50=5 g/kg (ラット: IUCLID(2000))
経皮	: 成分および組成より区分に該当しないと判断した。
«n-ヘプタン»	LD50=3 g/Kg (ウサギ: IUCLID(2000))
吸入	: 成分および組成より区分に該当しないと判断した。
«n-ヘプタン»	LC50=25184 ppm/4h (ラット: PATTY4th)
皮膚腐食性/刺激性	: 成分および組成より区分 2 と判断した。
«スレッドコンパウンド原体»	皮膚に対する腐食性はない。長期間または繰り返し皮膚に接触した場合は刺激性のおそれがある。
«n-ヘプタン»	ヒト皮膚 1h 接触で刺激性と皮膚炎が認められた報告 (DFGOT(vol11)1998) 皮膚直接ばく露で疼痛、火傷、掻痒を生じ回復やや遅い (産衛学会勧告 1998) EU 分類で R38 に区分 (EU-ANNEX_1(No.689)2008)
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 成分および組成より区分 2A と判断した。
呼吸器感作性	: 成分および組成より分類できないと判断した。
皮膚感作性	: 成分および組成より区分 1A と判断した。
生殖細胞変異原性	: 成分および組成より区分に該当しないと判断した。
«n-ヘプタン»	Ames 試験及びラット肝細胞染色体異常試験は陰性 (IRIS(AccessionNov2005), IUCLID(2000)) だが、in vivo 試験結果がない
発がん性	: 成分および組成より分類できないと判断した。
生殖毒性	: 成分および組成より区分に該当しないと判断した。
特定標的臓器毒性	
単回ばく露	: 成分および組成より区分 1 (循環器系、消化器)、区分 3 (気道刺激性、麻酔作用) と判断した。
«n-ヘプタン»	マウスに 10000~15000 ppm を吸入ばく露で麻酔作用 (ACGIH(7 th ,2001)) と、ヒトに 1000 ppm-6 分間ばく露後、軽度のめまいなど用量依存的な中枢神経抑制との報告 (DFGOT(vol11)1998) マウスに吸入ばく露後、上気道への刺激が微空粘膜の三叉神経終末の受容体を興奮させ、呼吸数低下を導いた (DFGOT(vol11)1998)。ヒトでも呼吸器や粘膜への刺激が報告された (産衛学会勧告 1998, PATTY5th)
反復ばく露	: 成分および組成より区分 1 (中枢神経系、神経系) と判断した。
«n-ヘプタン»	ラットで、28 日間吸入で聴性脳幹反応の低下 (DFGOT(vol11)1998) や 13 週間経口投与で膀胱重量の変化 (HSDB(2006)) があるが、いずれもガイダンス値区分外に相当する。ヒト職業ばく露で多発性神経障害、運動性神経伝達速度低下、四肢の感覚異常・麻痺、無力症筋、筋痙攣、眩暈などの有害影響が報告されているが、いずれも混合物ばく露の結果で、n-ヘプタン自体の影響と断定できない (ACGIH(7 th ,2001), DFGOT(vol11)1998)
誤えん有害性	: 成分および組成より区分に該当しないと判断した。
«n-ヘプタン»	20℃の動粘度が 0.61 mm ² /s の炭化水素

12. 環境影響情報

製品としてのデータはない。成分ごとのデータおよび GHS 区分より判定した。

記載無きものは GHS 分類でカットオフ値以下のものか、知見なし、あるいはデータなし。

生態毒性

水生環境有害性

短期 (急性) : 成分および組成より区分 1 と判断した。

 «n-ヘプタン» 甲殻類 (ミシドシュリンブ) LC50=0.1 mg/L/96h (HSDB、2006)

 «メチルシクロヘキサン» 甲殻類 (オオミジンコ) EC50=0.33 mg/L/48h (環境省生態影響試験、2006)

«2,6-t-ブチル-4-クレゾール»: 甲殻類 (オオミジンコ) EC50=0.84 mg/L/48h (環境庁生態影響試験, 1999; 環境省リスク評価第 6 巻, 2008)

長期 (慢性): 成分および組成より区分 1 と判断した。

«n-ヘプタン» 急速分解性がある (BOD による分解度: 101% (既存点検, 1996)) が、生物蓄積性があると推定される。(log Kow=4.66 (> 4.0, PHYSPROP Database, 2009))

«メチルシクロヘキサン» 藻類 (セテナストラム) NOEC(r)=0.067 mg/L/72h (環境省生態影響試験, 2006)

«2,6-t-ブチル-4-クレゾール» 魚類 (メダカ) ELS NOEC = 0.053 mg/L (環境省生態影響試験, 2007)

残留性・分解性 : 製品としてのデータはない。

«n-ヘプタン» 急速分解性=有 (BOD による分解度: 101% (既存点検, 1996))

«2,6-t-ブチル-4-クレゾール» 急速分解性=無

生体蓄積性 : 製品としてのデータはない。

«メチルシクロヘキサン» 低濃縮性

«n-ヘプタン» Log Pow = 4.66

土壌中の移動性 : 現在のところ有用なデータなし。

オゾン層への有害性 : オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書リストに掲載なし。

13. 廃棄上の注意

1. 事業者は産業廃棄物を自ら処理するか、または知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

2. 投棄禁止

3. 埋め立て処分を行う場合には、あらかじめ焼却し、その燃え殻について下記の物質が環境省で定めた基準以下であることを確認しなければならない。

銅またはその化合物、亜鉛またはその化合物、ふっ化物、アルキル水銀化合物、水銀またはその化合物、ヒ素またはその化合物、六価クロム化合物、有機りん化合物、鉛またはその化合物、カドミウムまたはその化合物、シアン化合物、PCB。

4. 燃焼する場合は、安全な場所で、かつ燃焼または爆発によって他に危害または損害を及ぼすおそれのない方法で行うとともに、見張り人を付けること。

5. 廃棄時における関係法規

- ・ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律
- ・ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令
- ・ 危険物の規制に関する政令
- ・ 金属等を含む産業廃棄物に関する判定基準を定める環境省令
- ・ 特定製品にかかわるフロン類の回収および破壊の実施の確保に関する法律
- ・ 地球温暖化対策の推進に関する法律

14. 輸送上の注意

注意事項 : 容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下損傷が起こらないように積み込む。
: 荷崩れの防止を確実に行う。
: みだりに転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずる等の粗暴の取り扱いをしない。
: 天地を逆転しておかないこと。
: 温度差の少ない冷暗状態にて輸送する。

国連規制 : 国連番号…UN1950
: 国連分類…Class 2.1 (可燃性エアゾール)
: 容器分類…—
: 指針番号…126
: 海上輸送に関しては IMO、航空輸送に関しては ICAO/IATA の規定に従う。

国内規制 : 陸上輸送…消防法、安衛法などに定められている運送方法に従う
: 海上輸送…船舶安全法に定められている運送方法に従う
: 航空輸送…航空法に定められている運送方法に従う注意事項

15. 適用法令

化審法 : 優先評価化学物質 (2,6-ジターシャリーブチル-4-クレゾール) を含有する。

労働安全衛生法 : 危険物に該当する (引火性のもの、可燃性のガス)

	: 特定化学物質等障害予防規則に該当しない : ラベル表示および SDS 通知対象物質 (施行令別表 9、安衛規則別表 2) を含有する。 ・ 表示対象濃度以上…鉛油、モリブデン化合物、銅及びその化合物、n-ヘプタン、ブタンプロパン (2026 年 4 月より) ・ 通知対象濃度以上…2,6-ジ-tert-ブチル-4-クレゾール : 有機溶剤中毒予防規則 (施行令別表 6 の 2) に該当しない。 : 変異原性が認められた既存化学物質を含有しない。 : 安衛則 577 条の 2 規定のがん原性物質を含有しない。 : 安衛則 594 条の 2 規定の皮膚障害化学物質等を含有する。 ・ 皮膚刺激性有害物質
化管法 (PRTR 法)	: 該当。第 1 種指定化学物質を含有する。 - 対象濃度以上…モリブデン及びその化合物、ヘプタン - 対象濃度未満…2,6-ジ-tert-ブチル-4-クレゾール
毒物及び劇物取締法	: 対象外
高圧ガス保安法	: 適用除外 (エアゾール)
消防法	: 危険物 第 4 類 第 1 石油類 危険等級 II
船舶安全法	: 引火性液体、高圧ガス
航空法	: 引火性液体、高圧ガス
水質汚濁防止法	: 油分抽出規制 (5 mg/L 許容濃度) ノルマルヘキサン抽出分として検出される。
海洋汚染防止法	: ばら積み貨物でないので製品としては非該当。 - 有害液体物質 X 類 (アルカン: 炭素数 6~9) を含有する (施行令別表第 1)
下水道法	: 鉛油類排出規制 (5 mg/L)
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	: 産業廃棄物規制 (拡散、流出の禁止)

16. その他の情報

RoHS 指令有害物質	: いずれも意図的な含有なし
ELV 指令有害物質	: いずれも意図的な含有なし
引用文献	: ①原料メーカー SDS ②製品評価技術基盤機構ホームページ ③法律に関するホームページ

安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として提供されるものです。取扱者はこれを参考とし、自らの責任において個々の取扱いの実態に合わせた処置を講ずることが必要であり、これを理解した上で活用して下さい。従って、本データシートそのものは安全の保証書ではありません。